

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2286 号

Evaluation of Postgraduate Rural Medical Training Programs - Strategies for Medical Education and Workforce Recruitment and Retainment: A Systematic Review

卒後へき地医療研修プログラムの評価 - 研修プログラムが、へき地で働く医師の確保と定着および医学教育に与える効果：システマティックレビュー

齋藤 学（さいとう まなぶ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、卒後へき地医療研修プログラムについて、質的研究手法を用いたシステマティックレビューを行い、1) 世界各地で実施されている卒後へき地医療研修プログラムの成果、2) プログラムや研修の評価の方法や実施方法、3) プログラムの有効性の評価に使用される評価モデルやアプローチの種類や有効性を分析し、明らかにした意義のある研究論文である。卒後へき地医療研修プログラムを構築することは、へき地の医師の確保と定着を成功させるための重要な要素であり、そのプログラム開発についての報告は多数あるが、プログラムの成果を体系立てて評価し報告したものは少ない。本システマティックレビューでは、PubMed、PsycINFO、ERIC、Web of Science のデータベースより 1,297 件の論文が抽出され、包含基準を満たした 26 件の研究を元に、報告と分析が行われている。地理的分布、評価手法の分類、研修プログラムの成果と影響の評価的結論を引き出す指標が結果として述べられている。この系統的レビューの結果を踏まえ、へき地で働く医師に特化したへき地医療研修プログラムの特徴、医学教育におけるプログラム評価の在り方、評価の評価：カリキュラム開発の質の改善に資するメタ評価、エビデンスの強みと知見の一般化の可能性について分析され、示唆が深められている。専門的な教育プログラムの開発や改善は、長期的なへき地の医療従事者の確保に貢献すること、また、プログラム評価によって、へき地のニーズに特化した質、量の両面で効果的な医師の養成や、包括的で質の高い医療を提供するための必要要件を検証できることが示されており、医学教育における評価およびへき地に特化したカリキュラム開発の観点から、重要な示唆と提案が述べられている。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。